

南仏治安情報 (2012年12月)

■プロヴァンス地方

1. 治安対策優先地域への対策が始動

ブーシュ・デュ・ローヌ県庁は治安対策優先地域 (ZSP) に対する治安改善策として、指定された各地域で1. 取り締まりの強化による犯罪の根絶 2. 団地地区内に保安機動隊 (CRS) を常駐させ地域の安全を定着させる 3. 破壊された建物のドア等セキュリティシステムの修繕をし生活環境を整える。という3つのプロセスを数週間に渡って行い恒久的な治安改善を図ることを決定しました。12月半ばには他地域に先駆けマルセイユ市 Félix-Pyat地区 (3区) で開始され、他地域でも2013年初頭より順次実施される予定です。

2. 武器の大量押収

マルセイユ市のLa Rouguière地区 (11区) で61才の女性のアパートからカラシニコフ小銃を含む複数の小銃、拳銃、弾薬、目出し帽及び警察の制服等が見つかり、隠し持っていた女性と女性の義理の孫で所有者の30才の男が逮捕されました。また、同市Montolivet地区 (12区) のアパートからも複数の手榴弾等の爆発物、散弾銃及び模造銃等が見つかり所有者の49才の男が逮捕されています。警察は両事件について強盗・殺人に関与している可能性もあるとして捜査しています。

3. クリスマス商戦を狙った強盗対策

クリスマス・イヴの24日、Gardanne、Bouc-Bel-Air、Venelles の商業施設で売上金を狙った強盗を防ぐため約30名の憲兵隊が警備に当たりました。この日強盗事件の報告はありませんでしたが、Bouche-du-Rhone 県で12月に報告された強盗事件は12件に上りました。

4. 手製の爆発物による授業妨害

Istresの職業高等学校で12月中旬、授業中の教諭に向かってアルミ箔と塩酸をペットボトルに混入して作った手製の爆発物が投げつけられる事件が発生しました。爆破により教室にいた生徒の一人が耳に怪我を負い、教諭をからかう為に爆破物を製造・投げつけた生徒2人が逮捕されました。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. 治安対策優先地域における一斉検挙

アルプ・マリティム県警は12月18日治安対策優先地域に指定されたニース市L'Ariane地区で犯罪撲滅作戦を実行しました。この日は早朝より警察特殊部隊、憲兵隊の合計120名が出動し薬物・武器の保持及び売買、強奪、マネーロータリング等の容疑で15名を検挙しました。また家宅捜査の際、薬物、武器、約1万ユーロの現金が押収されました。

2. ニース市の防犯カメラ増設へ

ニース市内の防犯カメラを統括する中央監視センターは2010年に設立されましたが、同年のニース市警による同カメラが捉えた映像に関連する取調べ件数は2059件であったのに対し、2012年には2700件以上と24%もの増加を示し、防犯カメラの設置が犯罪捜査の効率化につながっていることが明らかになりました。市は現時点で744箇所に設置されている防犯カメラに加え、今後50～150台を増設し治安を強化していく考えです。

3. テロリストを養成していた疑いで男3人を逮捕

イスラム教徒の若者を『聖戦』に備え軍事訓練の為にインドネシアのテロリストキャンプに送り込んでいたとして、男3人がニース市 Bon-Voyage地区とLes Moulins地区にて逮捕されました。昨年4月にはモンペリエ市で、トゥールーズ連続銃乱射事件被疑者のモハメド・メラ容疑者と関わっていた容疑のあるイスラム過激派リーダー格の男が逮捕されており、警察は今回逮捕された3人がこの男と繋がっていた可能性があるとして捜査しています。

4. コルシカ島における爆破事件

コルシカ島Calviで12月7日ディスコ経営者が車に乗車中何者かに撃たれ死亡し、同乗していた男児が怪我を負いました。また同日夜にはコルシカ島全土で計26戸の別荘が爆破されました。12月8日はコルシカ民族祭でしたが、これら事件の犯行声明は出されていません。なお、8日朝Calviで独立運動のメンバーを名乗る男が交通取り締まりの際、自動車のトランクに爆破物を所持していたとして逮捕されています。

■ミディ・ピレネー地方

1. 女子留学生の強盗強姦被害

モンペリエ市の中心地区 L'Écussonで、男が階下住人を装い北欧出身の女学生2名が居住するアパートに侵入し、拳銃で脅した上2人の手足を衣類で縛り上げ貴金属、現金、キャッシュカード等の貴重品を奪い、更に2人の女学生のうち1人を強姦し逃走しました。

2. トゥールーズ市近郊での武器の窃盗被害

12月17日未明トゥールーズ市北西に位置するValence-d' Agenに所在する猟銃を扱う店に空き巣が入り、猟銃15丁、銃弾等が盗まれました。また19日から20日にかけての夜間Castelsarrasinに所在する猟専門店でも猟銃約10丁、ナイフ等が盗まれました。いずれもシャッターをバールでこじ開けドアを壊し侵入しており犯行手口が似ている事から、警察は両事件に関連性があると見て捜査しています。

3. 現金自動支払機使用時における窃盗被害

12月3日トゥールーズ市北部に位置するBlagnacで、男が現金自動支払機を使用中の客に対し、不具合でカードが取り出せなくなっている等と嘘の説明をし、残されたカードをだまし取る事件が発生しました。また9日には、同様の容疑で東欧出身の男女2人が逮捕されました。同人等はトゥールーズ市中心部を走る Rémusat通りとLafayette通り間に設置されている現金自動支払機の利用者からカードや暗証番号の盗難を繰り返しており、逮捕時現金6000ユーロを所持していました。なお、その他、12月中に現金自動支払機周辺で発生した強盗・ひったくり事件が4件報告されています。

4. 偽健康保険社員に注意

12月後半Hérault県では電話口で健康保険(CPAM)の社員を装い個人情報や口座番号等を聞き出したり、現金を要求する詐欺事件が報告されています。健康保険の社員が直接電話を掛け個人情報を尋ねることは一切行っていませんのでご注意ください。